

赤こんりポート

馬場利男リポーター

つながり大事に みんなで輝く 未来を創る
～ムリせず 気楽に PTA～

保護者と教職員の日頃の頑張りをねぎらい、笑いと癒やしとともにPTA活動を学ぶ機会として、10月28日、男女共同参画センターで近江八幡市PTA大会が開催されました。

オープニングに「八中太鼓」が曲を披露。続いて市島恵子さんと小西真知子さんの「掛け合いブックトーク」や、松林昭さんの面白い理科実験「サイエンスショー」などが行われました。ロビーでは各園・小中学校の活動報告が展示され、参加者はじっくりと見学していました。

短い時間でしたが、変わりつつあるPTAや育児環境などを見つめ直すいい機会になったのではないのでしょうか。これからも、園児や児童・生徒たちを見守っていただける体制を整えていきたいですね。

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター

子育てを応援する 30 団体が集結
だんないで子育てフェスタ 2023

アクア21センターコートとはちはびひろばで「だんないで子育てフェスタ2023」が10月28日に開催されました。市内の子育て支援団体や子育てを応援している企業など、約30団体が布芝居、リトミックなどのステージや木育おもちゃ、エコバック作りなどの体験ブースを出店。230組以上の参加者とともに楽しみ盛り上がりがありました。実行委員長藤田せい子さんは「このイベントを機に応援者と子育て世代とのつながりがより深まれば」と期待を寄せていました。



赤こんりポート

渥美勉リポーター

旧伴家住宅で自然の音と楽器をミックスさせた
幻想的なコンサートが開催

11月3日と4日の2日間、BIWAKO ビエンナーレ参加アーティスト「Kikoh Matsuura」と「AWAYA」によるコラボレーションライブが旧伴家住宅の大広間で開催されました。

和歌山の自然の音を採取し音楽に変換したものが、ひょうたんで作られた独特のスピーカーから流れた会場は、森の中にいるような、不思議な感覚になりました。来場者は「神聖で、浄化されたような気持ちになりました」と感想を話し好評でした。

赤こんりポート

東恵子リポーター



「レクダンス」で健康アップ↑

健康長寿を目指して楽しく身体を動かしてもらおうと、10月26日、日本フォークダンス連盟の乗松慎二さんが、竹町の高齢者デイサービスセンターを訪れ「レクダンス」の講習会を行いました。

まず、懐かしい「茶つぼ」の手遊びから。次はハチマキを手に「知床旅情」の曲に合わせて左右前後に身体を動かしてリフレッシュしました。デイサービスセンターでは、コロナ禍のためにレクリエーションを控えていたそうで、最初は動きが控えめだった皆さんも、徐々に元気ハツラツに。また、チラシで紙飛行機を折り、曲に合わせて飛ばしたり、そのチラシを元に戻して破り、パズルよろしく組み合わせたりする脳トレもありました。参加した女性は「日頃使わないところが動かしてスッキリした。リズムカルで楽しかったです」と喜んでいました。

10月31日



声を合わせて「横断歩道は止まってね」

年末にかけて事故が増えるこの時期に合わせ、可愛い警察官（ジュニアポリス）に扮した安土のはな保育園の園児32人が、平和堂フレンドマート安土店で、買い物に訪れた市民に交通安全を呼びかけました。

この日は少し大きめの制服に身を包んだ園児が、交通安全協会や近江八幡警察署署員らが見守る中、店の出入口2か所でチラシとティッシュ、地元特産のおうみせんべいが入った啓発用品を全員で声をかけながら一人ひとりに手渡しました。買い物客らは、「かわいいね」「ありがとう」と笑顔で啓発用品を受け取っていました。

11月10日

「富士と琵琶湖を結ぶ会」が来幡
富士山の湧き水を琵琶湖へ注ぐ

本市と「夫婦都市」の盟約を結んでいる静岡県富士宮市の市民らでつくる「富士と琵琶湖を結ぶ会」の一行が来幡し、富士山の湧き水を琵琶湖に注ぐ献水式が長命寺町水ヶ浜の琵琶湖畔で行われました。献水式は令和元年からコロナ禍のため規模を縮小していましたが、4年ぶりに市民を含む39人が本市を訪れ、互いに親交を深めました。

同会の石田寛二会長代理をはじめ、須藤秀忠富士宮市長、ミス富士山らは、富士の御霊水を湖面に注ぎ、両市の親善と発展を祈願しました。石田会長代理は「今年は夫婦都市提携55周年のエメラルド婚式を迎えることができました。これからも交流の輪を広げながら仲良くしていきたいです」と話していました。

10月26日



不老長寿の果実「むべ」を皇室に献上

奥島山自然休養林などに自生する果実「むべ」を皇室に献上するため、北津田町の大嶋・奥津嶋神社宮司の深井克宣さんと氏子総代の南光男さん、辻太喜男さんの3人が市役所を訪れ、小西理市長立ち会いのもと、かご詰め式が行われました。

天智天皇が奥島（現在の島町）で出会った老夫婦に健康長寿の理由を尋ね、老夫婦は「この果実を食べています」と答えました。天皇が果実を賞味し「むべなるかな（もつともだ）」と言ったことが、むべの名前の由来といわれています。深井宮司は「今年も天皇后陛下に無事献上できて、ほっとしています。これからも続けたい」と話していました。

10月20日



壁面に広がる子どもたちのアート

子どもたちに地域の農畜産業に興味を持ってもらおうと、奥井グループがヤギやヒツジなどを飼育しているファームの壁に、縦2m・横10mの大きな絵を制作するワークショップを行い、八王子保育園とメリー保育園の園児33人が参加しました。

このワークショップでは、植物などをモチーフとして数々の作品を制作している、日系ブラジル人アーティストのチチ・フリークさんが講師を務めました。園児たちは説明を受けた後、初めて触るスプレーに興味しながら、思いおもいに色を塗ったり、好きな絵を描いたりして楽しんでいました。